

地域の実情と課題

- 働く女性の割合は近年上昇しているものの、結婚、出産を機に就業女性の多くが離職しており、特に本県においては、全国に比べ25歳から34歳までの女性の労働力が低い状況である。(25～29歳全国87.0%,山口83.9% 30～34歳 全国79.6%,山口76.2%) (R2国勢調査)
- 山口県での、ポジティブアクションに取り組む事業所(R2 31.3%→R5 33.7%)は若干伸びているものの、女性管理職の割合(部長相当職R2 12.1%→R5 10.6%、課長相当職R2 16.4% →R2 14.5% R5山口県働き方改革推進実態調査)は減少しており、事業所への取組強化が必要となっている。

事業の特徴

- 山口県内の多くの中小企業においては、社内に女性管理職が不在であり、(山口県15.6%、全国平均15.7%。)女性管理職が少数であるため、新人女性管理職や中堅女性職員が、社内で初めての管理職になることや、女性管理職を目指すことへの不安について、社内で相談できない場合が多い。
そのため、女性社員が、女性管理職に対して相談できる体制の構築によるサポートが必要となっている。

事業の効果

- 参加者へアンケートを実施した結果、「聞きやすく、自分に置き変えて考える事ができました」「今、不安に思っている事や解決のアドバイスがほしい、と感じていたことを聞くことができて良かった」との感想があり、また内容についても全ての受講者から満足 または、やや満足という回答を得た。
- 県が認定する女性管理職アドバイザーからの助言を踏まえた取組の実践による意識改革や業務改善等により、ポジティブアクションに取り組む事業所の増加や、女性管理職登用促進につながる事が期待できる。

目的・目標

- 女性の活躍を促進するため、県内企業、女性就業者、女性団体等を対象に課題に応じた施策を展開することにより、企業の意識改革や女性管理職の増加を目指す。
 - ・地域シンポジウム参加者(目標:200名 実績:153名)
 - ・事業所の部長相当職に占める女性の割合(R5 10.6%→R8 15%)
 - ・事業所の課長相当職に占める女性の割合(R5 14.5%→R8 20%)
 - ・ポジティブアクションに取り組む事業所(R5 33.7%→R8 40%)
 - ・女性の活躍推進事業者(目標:R8年度末 330件 R6年度末時点:319件)
 - ・やまぐち男女共同推進事業者認証数(目標:R6年度末 845件 実績 882件)

連携団体

山口県男女共同参画推進連携会議

山口県自治会連合会、山口県少年団体活動振興協議会、山口県女性団体連絡協議会、山口県社会福祉協議会、山口県保育協会、山口県病院協会、山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、山口県経済同友会、日本労働組合総連合山口県連合会、山口県農業協同組合中央会、山口県森林組合連合会、山口県漁業協同組合、山口県建設業協会、山口県建築士会、山口県私立幼稚園協会、山口県私立中学高等学校協会、山口県専修学校各種学校協会、山口県私立大学協会、山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会、山口県市長会、山口県町村会

今後の課題

- セミナー受講者が、自社内においても研修内容が実践できる効果的な研修となるよう、引き続き、輝き女性サポーターや経済団体等からの意見を踏まえ実施する。
- シンポジウム終了後に開催した、「地元企業による大学生とのポスターセッション」について、参加学生からは好評であったが、もっと多くの学生に参加してもらいたいため、大学との連携をより一層強化し、将来の社会人となる学生に向けた意識啓発に取り組むこととする。

事業の概要

女性管理職アドバイザー制度【山口県】

○女性管理職のロール・モデルである「輝き女性サポーター」(県認定)が、他社の女性管理職や女性管理職候補者等へ、課題解決に向けたアドバイスを実施するなど、企業の枠を越えた、女性管理職等への相談体制を構築し支援を行う。

【実施内容】

- ・やまぐち女性活躍推進セミナー(経済団体と共催)
実施日: 令和6年11月18日(月) リーダー研修/座談会等での意見交換
- ・輝き女性サポーターの派遣(下表参照)
企業等への個別派遣による支援
- ・輝き女性サポーター会議の実施
今後の女性活躍に向けた意見交換の実施

《やまぐち女性活躍推進セミナー》



市と共催による地域シンポジウムの開催

- ・主催: 山口県、共催: 市・大学
- ・対象: 企業経営者、従業員、大学生、その他一般県民等
- ・目的: 地域における女性活躍推進の産学公ネットワーク構築
地元の身近なロールモデルを示すことで事業所の取組を促進
- ・構成: 基調講演(全国的に著名な先進企業からの好事例の紹介)
地元企業からの実践事例の紹介
パネルディスカッション(知事、市長、地元企業、地元大学関係者等)
地元企業による大学生とのポスターセッション
- ・開催地域: 大学が所在する市を基本に、県内を巡回した実施
- ・参加人数: 153名

○経営者による企業好事例の発信県内事業所における女性活躍の取組について、経営者に直接取材し、女性活躍にかける思いやメッセージについて、SNSやホームページ、地域シンポジウム等を通じて、情報発信を行い、好事例の普及拡大を図る。

《地域シンポジウム》



開催地	日時	基調講演	登壇者	参加人数
山陽小野田市	《シンポジウム》 10月11日(金) 13:30~16:00	㈱ポーラ	・知事、山陽小野田市長 ・西日本医療サービス㈱、 富士商㈱ ・山口東京理科大学	会場110名 オンライン31名
場所: Aスクエア	《ポスターセッション》 16:15~17:15	—	・田辺三菱製薬工場㈱ 小野田工場 ・西日本医療サービス㈱ ・㈱NITTAN 山陽工場 ・富士商㈱ ・山陽小野田市役所	会場43名